Sharing Nature News Letter

ネイチャーゲームの森

vol.78
15 June. 2012

本誌はネイチャーゲームの英語名である“Sharing Nature”（シェアリングネイチャー）をテーマに
自然と人のつながりやつき合い方を見つめる情報誌です。

NATURE GAME.

つながろうニッポン!
2011 NATURE GAME
東日本大震災復興支援
社団法人日本ネイチャーゲーム協会

toto
スポーツ振興くじ助成事業

特集 活躍する“学生”ネイチャーゲームリーダー

P.1 日本の民話から「河童」

ネイチャーゲームの森 78号

ネイチャーゲームは米国のナチュラリスト　ジョセフ・コーネル氏により発表された活動です。
みる・きく・さわる・かぐなど、私たちひとり一人が持っている感覚を使って、楽しみながら自然を体験する活動です。

日本の民話から「河童」……1
シェアリングネイチャーを深めよう……5
テーマ別実践ヒント《自然エネルギー》……6
達人から学ぶ「体験を深めるためのアドバイス」……7
自然を丸かじり《影絵をつくってあそぼう！》……8
ネイチャーゲームでひろがるつながる《ファシリテーション》……8
あなたの本棚見せて！……9
ネイチャーゲーム川柳……10

Sharing Nature Column

日本の民話から Vol.5

日本の民話には、自然の化身ともとらえられる妖精や妖怪が多く登場します。
彼らと人間との関わりから自然と人のつきあい方を考えてみませんか。

写真／かっぱ淵（岩手県）

【河童】

日本では知らない人はいないほどの有名な水の精。胡瓜（きゅうり）と相撲が何よりも好きで、頭に乗せた皿の水がなくなると神通力を失うとされている。

文・高畑吉男
イラスト・井上みさお

清らかな流れに棲むといわれる愉快な水の精
彼らは今もいるのでしょうか

昔から、水の清らかな川や池、とりわけ深い淵には、河童が棲むとされていました。泳ぎが得意な彼らは時々悪さをしますが、一緒に相撲を取ったり、堤防の工事を手伝ったりと、人に近しい存在でした。中には魚獲りの網にかかってしまった河童を助け、そのお礼に万能の傷薬を貰った、という話も伝わっています。背中には甲羅、頭には水を張った皿があり、指には水かき。どこかユーモラスで憎めない彼らは、今でも私たちの近くにいるのでしょうか？

Special feature - 17

ネイチャーゲーム課程認定校スタートから10年――

活躍する〝学生〟ネイチャーゲームリーダー

取材・文／伊東久枝
取材協力・写真提供／多々見ゆりか　能條 歩　藤田庄治
写真提供／日本協会
構　成／編集部

学生リーダー2700人！課程認定校の実績と躍進に向けての課題――

大学や専門学校でネイチャーゲームリーダーの資格が取れる制度を導入して今年で10年を迎えます。現在ネイチャーゲームリーダー養成講座を開講する学校は約20校、すでにリーダー資格を取得した学生は2700人を超えました。

学生時代にリーダー資格を取得することのメリットにはどのようなことがあるのか。認定校開始10年の節目に、就職後も職場でネイチャーゲームを活用している卒業生の事例に、指導に当たる大学教授、県協会理事の話をまじえ、課程認定校の〝今〟をご紹介します。

ネイチャーゲーム課程認定校

ネイチャーゲームリーダー養成講座を「授業」や「集中講座」で組み入れた大学や短大、専門学校。平成13年度から延べ35の学校が課程認定校として講座を行っている。

養成講座で知る 自然の魅力と学びの可能性

大学や短大、専門学校のネイチャーゲーム課程認定校では、現在授業として年間プログラムを組んでいる学校と、集中講座として夏休みなどにリーダー養成講座を開催している学校があります。受講生の多くを占めるのは保育士や教員を目指す学生。卒業後職場ですぐに使える技術として身につける人が多いようです。資格として履歴書に明記できることから、就職活動に有利に働くというメリットもあげられます。

さらに課程認定校の現場の話をうかがうと、学生時代にネイチャーゲームリーダーを取得することには、「技術」や「資格」の枠にとどまらないさまざまなメリットがあるように思われます。

今年4月に北海道教育大学岩見沢校を卒業し、野外活動プログラムなどの企画・運営を行う『ゆうばり自然体験塾』に就職した多々見ゆりかさんは、大学の授業で野外活動を体験するまで「屋外でゲームをするという発想すらなかった」学生でした。進学でアウトドア・ライフ専攻を選んだのも「高校まで陸上競技に没頭していたほど運動が好きだったので、この学部がいいかな」と思った程度。それが大学で子どもキャンプの企画やスタッフ体験を重ねるごとに自然の魅力に取りつかれ、入学当初漠然と「就職は教員」と思っていたものが、就職活動時には子どもキャンプや修学旅行生を対象とした野外活動の企画・運営を行う企業を選ぶほどになっていました。

「自然のなかでの学びはひとりひとり違い、必ずしも答えがあるものではない。だからこそ得られるおもしろさや楽しさを伝えたいと思い、カリキュラムなどの縛りがなく自由にプログラムを考えられる今の仕事を選びました。瞬間瞬間によって見え方、感じ方が違う自然。同じ場所でも見る度に異なるものを見せてくれる奥深さ。そのような魅力をひとりでも多くの人に伝えたいと思います」

「答があるものが少ない」ということは、間違いも少ないということ。だから子どもたちも、自分の発見や学びを発表しやすい。そうして自分の気づきを人に伝えることで、表現力が身に付いていく。さらに自然のなかではひとりではできないことも多いので、仲間と協力する力もついていくのだと、自然体験活動における学びの広がりを話す多々見さん。

多々見さんと話をしていると、大学を卒業して就職をしたばかりの新人スタッフとは思えないしっかりとした考えと話し方に驚きます。それを伝えると、「私自身、指導体験を重ねるなかで発言する力がついたように思います」と話します。

彼女の言葉の端ばしから、好奇心とするどい感性をもった大学生が自然とそれを伝える体験活動の魅力に引き込まれ、さまざまな活動のなかで成長していった姿がいきいきと伝わってくるようです。

「より多くの子どもたちに北海道の自然の魅力を伝えるために、今後はリーダー養成講座なども企画したい」という、多々見ゆりかさん（写真左）。

自然体験が少ない人でも伝えられる「技術」の取得

じつは、多々見さんはネイチャーゲームインストラクターの資格を在学中に取得しています。これは日本協会としても、数少ない課程認定校受講学生による学生インストラクターの誕生でした。

「動機は『学生時代に取得できるものはひとつでも多く挑戦してみよう』という程度だったんですが、ネイチャーゲームのイベントスタッフをするなど、インストラクター取得のための経験を積むにつれ、自然体験活動の持つ魅力がより深く理解できたように思います」

リーダー養成講座を受講したころは、単に楽しいゲームだと思っていた〈カモフラージュ〉や〈コウモリとガ〉にそれぞれ伝えられる学習内容～たとえば、虫が鳥などに食べられないために身につけた〝保護色〟や〝擬態〟の体験～があることを理解し、「もっと自然の仕組みが知りたい、伝えたい」と思うようになりました。指導体験の積み重ねのなかで、彼女自身がネイチャーゲームの本質を理解し、自然体験活動の意義を認識していったといえるでしょう。

「おもしろさに加えて、新たな自然の仕組みを発見できたら、家に帰って子どもたちが家族に話すネタになる。そうすれば親子のコミュニケーションの機

会にもなる…そんなことも考えるようになりました。そして、スタッフとして参加する社会人の方がみんな勉強熱心で、子どもたちに何かを伝えたいという目的を持っていることが素敵だな…と感じました」

もちろん大学の授業ではネイチャーゲーム以外にも多くの自然活動を体験します。では、そのなかで今多々見さんにとってネイチャーゲームの指導技術はどのような意味を持っているのでしょうか。

「もしネイチャーゲームの指導技術がなかったら、自然の素晴らしさや魅力をいくら知っても、大学入学まで自然とほとんど関わってこなかった私には虫取りなどの簡単な遊びしかできず、人に伝える術がなかったと思います」

資格取得後の学生に指導体験の場を！

「体験活動の指導方法は座学だけでは身に付きません。ネイチャーゲームのリーダー資格を取得すると、大学のサークル活動はもとより、フォローアップセミナーや地域の会の活動などに参加する機会に恵まれ、指導経験を積むチャンスができます」

「意欲的な人にとっては道が開ける」と語るのは、多々見さんの指導教員であった北海道教育大学岩見沢校の能條 歩教授。教育大学という性格上、卒業生には教員になる人もおり、授業で活用しているという話も聞かれます。また、最近では自然ガイドになる卒業生も増えています。ところが…

「大学入学当時は自然の魅力を知らない学生もいます。しかし自然の魅力は、指導者本人が自然とのふれあいを楽しいと思っていないと人には伝えられない。ですからまずは、学生自身が体験してみることが大切なのです。さらにリーダー養成講座では、人に伝えるためには技術があるということも学べます」

学生時代のネイチャーゲーム体験は「体験活動指導の体験」だと、能條先生はいいます。

一方、学生にそのような指導の場を学外で積極的に提供しているのが、静岡県ネイチャーゲーム協会理事長の藤田庄治さんです。２００７年から企業との協働事業として、サッポロビール株式会社静岡工場が所有するビオトープ園を利用して幼児親子を対象に行っているネイチャーゲーム10回講座に、学生リーダーを迎えています。

プログラムを手伝うのは、藤田さんが非常勤講師を務める常葉学園短期大学保育科の学生の他、県内の課程認定校でリーダー資格を取得した学生たち。

「非常勤講師は学内でサークルを立ち上げられないので、企業と地域の会の力を借りて学生が体験できる場をつくっています。保育士や教師という職業は、他の業種と違って見習い期間がなく、就職したとたんに自分でクラスをもたなくてはならない。そのときすぐに提供できる技術を持っていることは、大きな力になるはずです」

これは、幼稚園教諭を25年間勤めた藤田さんが、現場体験がないまま担任になり、子どもたちを前に提供できるものがなく困惑している若い先生たちを見ていて感じたことからはじめた場の提供でした。

さらに今年からは、より学生が参加しやすいように、藤田さんが非常勤講師を勤める県内の保育園でも学生の受け入れをはじめました。

「短期大学は授業数も多く、学生が忙しいためなかなか学外の活動に参加する余裕がないのが、当面の課題です。機会を増やすことで少しでも参加がしやすくなればいいと思っています」（藤田さん）

さまざまなことに興味をもち、世界が広がる大学・専門学校時代。リーダー資格を取得したあともネイチャーゲームの活動に参加する学生は、まだまだ多いとはいえません。しかしその現状を「もったいない」というのが多々見さん。

「インストラクター資格を取るか取らないかに関わらず、ネイチャーゲームには指導体験を行う機会がたくさんあるので、チャレンジするのがいいと思います。学生時代に、体験活動の指導が自分に合っているかどうかわかるだけでもいいですよね」と。

日本協会では、多々見さんのような若いリーダーが今後もより多くの現場で活躍することを願い、課程認定校の取り組みを進めていく予定です。

「実践の場で役立つ技術」として、すでに９年間、夏休みにリーダー養成講座を開講している北海道教育大学岩見沢校自然誌研究室の能條歩教授（写真右手前）。

短大や保育園の非常勤講師のほか、焼津ネイチャーゲームの会でも活動する藤田庄治さん（写真右）は、静岡県ネイチャーゲーム協会理事長としても活躍。

シェアリングネイチャーを深めよう
――ジョセフ・コーネルからのメッセージ

vol.8

Joseph Cornell's Message from Ananda

Joseph Cornell　ジョセフ・コーネル

1950年米国カリフォルニア州生まれ。野外教育インストラクターを経て、1979年『Sharing Nature with Children』を発表。現在、世界的なナチュラリストとして活躍。米国カリフォルニア州アナンダ村で瞑想やヨガ、菜食主義を取り入れた自然と調和する日常生活を送っている。シェアリングネイチャーワールドワイド会長。㈳日本ネイチャーゲーム協会名誉会長。

いま、目の前にある自然に心を開く

この記事は、2011年6月の来日講演をもとにしました。

　このコラムの読者の皆さんは、自然の中で素晴らしい体験をしたことがある方々だと思います。私はある谷をハイキングしていました。そこはあまり多くの人が訪れない場所なのですが、私は、小川の近くを歩き、そしてそこにある花たちを見ていました。そして、滝の水が岩の上に落ちる音を美しい音楽のように聞いていました。私はその時に、花や水、岩、その場所にあるすべてのエレメントがそれぞれ調和をし〝笑っている〟ように感じたものです。このような自然そのものから得るインスピレーションこそが、自然や人（私たち）には大切だと思います。

　4年前ですが、私はノースカロライナ州でワークショップを実施しました。そのワークショップにはジューク大学の女子学生が参加していました。ジューク大学というのはアメリカでも有数の大学のひとつです。その日は最終学期の週だったので彼女はテスト前だったそうです。最初、彼女はとても大きなプレッシャーに押しつぶされそうになっていました。私は、そのワークショップで、最近新しく考案した〈私は見える〉（原題：Ｉｃａｎｓｅｅ）を行いました。この活動では、参加者を自分の前に座らせてリーダーはその後ろに立ちます。そして、リーダーは参加者に静かにこう話しかけます「…私は見える」。参加者はその時に見える何かを声に出して言います。例えば、「風で揺れる木の葉…」といった具合に。続いてリーダーは、「私は聞こえる」「私は感じる」というように、参加者に話しかけます。参加者はもしかしたら、森の奥でさえずる鳥があなたを呼ぶ声を聞くかもしれませんし、そばにある木の葉があなたに近づこうとすることを感じるかもしれません。

　先ほどのジューク大学の学生は、このアクティビティを通して、〝いま、この瞬間に集中すること〟〝いま、この瞬間に関心を向けること〟に気がつきました。その後、彼女はとてもリラックスし、恐れを克服することができました。なぜなら、彼女はその〝瞬間に生きていること〟に集中しており、未来のテストのことはもう心配しなくなったからです。

　人々は多くの悩み事にとらわれています し、深刻な環境問題にも直面しています。しかし、そのことにばかり関心を向けて、〝いま目の前にある自然〟に心を開かないことは、とても残念なことだと思います。

　シェアリングネイチャーが皆さんに提供したいのは、自然そのものと深い関わりを持つという体験です。自然を深く体験した人というのは、自然によって変わることができるのです。シェアリングネイチャーが目指していることは、人々が自然に対する愛と自然への誠実さを持つことを見つけたい。人々がもっと自然や自分の周りの環境に繊細になればなるほど人はもっと健康的に変わっていけるのではないかと思うのです。

〈わたしは見える〉
I can see

ねらい
生命への気づき

第二段階
感覚をとぎすます活動
第三段階　自然を直接体験する活動

1. リーダーと参加者（または参加者同士）のペアをつくる。リーダーは「質問する人」、参加者は「応える人」になる。
2. 応える人は座り（立っていてもよい）、質問する人は後ろに立つ。
3. 質問する人が「私は見える…」と静かに話しかけ、応える人はその時に見える何かを言葉に出す。
4. 「私は聞こえる」「私は匂いをかぐ」「私は感じる」など、質問を変えて繰り返す。

このアクティビティは、新刊本『シェアリングネイチャー　自然のよろこびをわかちあおう』に掲載しています。

新刊本『シェアリング・ネイチャー　自然のよろこびをわかちあおう』発売中！

Naturegame
テーマ別
実践ヒント

今回のお題は、自然エネルギー

昨今話題にのぼることが多い「自然エネルギー」。言葉だけではなく「五感」で伝えるためには、どのように取り組んだらよいのでしょうか。お話をお聞きしました。

取材・文　大地佳子

「自然エネルギー」というと、太陽光・風力発電などが思い浮かぶかもしれませんが、太陽の光や風を室内に取り入れたり、水車で粉を挽いたりと、自然の力をそのまま利用する例もありますね。ネイチャーゲームでは、こうした自然の力を、五感を使って楽しみながら感じることができます。例えば＜目かくしイモ虫＞で、太陽の暖かさや水の冷たさを感じたり、＜サウンドマップ＞で、風の心地良さを感じたり…。普段なかなか実感できない「自然エネルギー」について考えるための、一つのきっかけになればと思います。ぜひ、実践事例を日本協会にお寄せ下さい！

渡辺峰夫
（日本ネイチャーゲーム協会事務局長）

「自然を感じる」という主軸をずらさない！

この分野のポイント

- 伝えたいテーマを明確に示す
- 知識を学ぶより、感じて楽しむ
- 後の行動につながる身近な自然エネルギー活用事例を紹介する

おすすめアクティビティ

- ●太陽、風、水と関連させて：＜目かくしイモムシ＞＜目かくし歩き＞＜目かくしトレイル＞＜音いくつ＞＜サウンドマップ＞＜フィールドビンゴ（太陽と風カード）＞など
- ●バイオマスと関連させて：＜わたしの木＞その他、木関連のアクティビティ

私たちも実践しています！

山田哲弘さん
（岡山県：環境学習センター「アスエコ」）

身近な公園で小学生や大人向けのイベントを行う時、＜音いくつ＞や＜サウンドマップ＞で川の水や風の音が聞こえたら「水や風の力で電気を作ることができるよ」といった話をしています。ネイチャーゲームが「自然」と「エネルギー」を結びつけて考えるきっかけとなり、そこから行動につながればと思います。

髙木淳剛さん
（佐賀県：あおぞら教育プランニング）

NPO法人唐津環境防災推進機構KANNEが地域の団体との協働で行っている「松林内に落ちている枝等を原料にした木質バイオマス燃料生産事業」の体験イベントの中で、導入に＜フィールドビンゴ＞を活用しました。林の中に落ちている物に自然と意識が向き、それがエネルギーになる事を実感してもらうことができました。

おすすめのネイチャーゲーム《裸足で歩こう》

アレンジのポイント
- 太陽の熱や光、風、水などを感じられるようにする
- 安全が確保されるよう留意する
- 目かくしを組み合わせてもよい
- 裸足を嫌がる参加者は靴のままでもよい

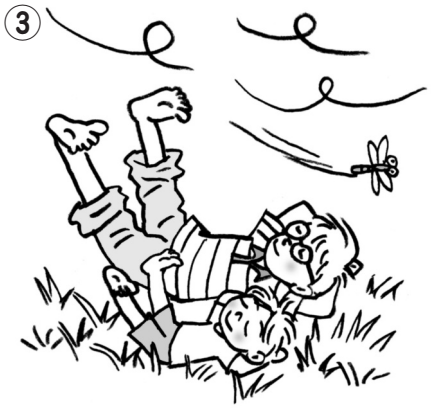
①

参加者に裸足になってもらい、しのび足で歩く方法（ハンドブック アクティビティ編 p185参照）を教える。

②

歩き方を練習し、フィールドの中を静かに歩いてみる。

③



寝転がって足をあげ、風を感じたり、日なたと日かげで地面の温かさを比べたりして、自然のエネルギーを感じてみる。

ネイチャーゲームの達人から学ぶ

【その十七】

ネイチャーゲームトレーナー
村田範子さんの巻

むらた　のりこ
（ニックネーム：ターザン）
子供の時から毎日裸足で野山・海・川を駆け巡り育った「ターザン」はネイチャーゲームに出会って29年。ネイチャーゲームのすばらしさを伝え、多くの指導員が地域で活躍していることが誇りです。生涯消えることのない『センス　オブ　ワンダー』を燃やし続けたい。

募集中
このコーナーでは、全国の「達人」情報やリクエストを募集しています。ある分野でのネイチャーゲームの達人、熟練指導員の達人技、あの人の技を聞いてみたい…どしどしご応募ください。
mizushina@naturegame.or.jp

体験を深めるためのアドバイス

自然の中でカワウソのように動き回りながら、参加者の心に寄り添うことを忘れない村田さん。そんな村田さんがネイチャーゲームと出会って29年、心がけ続けていることを語ってくださいました！

講座や活動の後には、参加者から深い体験から得た喜びを伝える感想をいただきます。「頭で考えるより、身体と心で理解できた。」「ネイチャーゲームの奥深くにある、自然との関わりによる人間の生き方というものを考えさせられた。」等、ネイチャーゲームの核心を突く感想です。今日は、参加者をアクティビティに集中させ、深い体験へ導くために私が心がけているモットーをご紹介します。

●参加者との間に信頼関係を築く

活動の開始直後は初対面同士で緊張しているものです。カワウソの活動に先立ち、自然をテーマにしたジャンケン遊び、ボール渡し、バンダナを利用した動物捕まえっこ等の簡単なゲームで緊張を解きほぐします。短時間でも、指導者も一緒になって身体で楽しさを共感し合えば、仲間意識と信頼感が生まれます。活動中は常に参加者の話をきちんと受け止め、言葉づかい・声・ジェスチャーに気を配ります。

また活動の中では、時に競う気持ちが起こるものですが、決して急がせないようにし、見守る態度も必要です。また、共感したことを態度で示すことや、活動に集中できない参加者が別の見方でトライできるようにフォローをします。

●アクティビティの深い意味を考える

ネイチャーゲームは、自然そのものと向き合い体験を重ねることで自然の豊かさに気づく活動です。私は自然への気づきを深めるために、ハンドブックの「手順」より先に「実践事例」を熟読し、その仮想体験からアクティビティのねらいを理解し、そのねらいを実現できるような教材を準備します。

たとえば動物の名前を当てる活動では、当たりはずれで終わるような進め方は避け、答え合わせの時、動物の写真を大きなパネルにして見せる工夫をしています。目で見て親しみを感じ、自分とのつながりを感じてほしいからです。ほんの小さな工夫でも、参加者がその自然物に対して連帯感や愛着を持つきっかけになるでしょう。

●自然から楽しさを学ぶ

〈鳴きまね合唱団〉をした時、参加者共々心打たれる楽しい経験をしました。身近な三種の動物を選び、「聴く」「声を出す」「リズムをとる」「音程を合わせる」といった練習を経るうちに、段々と本物の鳴き声に近づける意欲が湧いてきて、最後には「皆で合唱しましょう。」との声が上がりました。一斉に声は響き渡り、動物たちと人間が共存している平和な世界を高らかに歌っているように感じたのです。自分がその動物になれたことが誇らしく、その喜びを仲間とわかちあうことができました。このような体験は、自然に対して自分から深く関わろうとした結果、導かれたものだと思います。

イベントレポート EVENT REPORT

染め物セミナー

2012．3／3～4（神奈川県）
森下睦巳（静岡県）

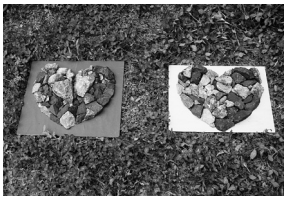
3月3日のひなまつり。まだ雪の残る黒川青少年野外活動センターで、ひな人形と桃の花が出迎えてくれました。今回は、自然の染め物工房の春田香歩さんが講師でした。染め物の一連の行程を体験し、煮出す材料や媒染や発色定着するタイミングによる微妙な色の変化や香りの違いがとても面白く感じました。夜は花びら染め、次の日は材料を変えさらに染め物に挑戦し、最後に様々な色・模様に染まった作品の展示会をしました。セミナー後は、落ち葉やドングリ、剪定した枝など、どんな色になるのか想像し集める楽しみが増えました。自分で染めた物を身につけると、色で自然との一体感を楽しんでいるような気持ちです。

模様を出すために糸や輪ゴムで「しぼり」をつける参加者

別冊アクティビティ編セミナー

2012．4／30（東京都）
鈴木波子（茨城県）

講師のいのっち（井上満さん）は不思議な草語を話し、ターザン（村田範子さん）の話には度々笑いが起きました。〈ジグソーストーン〉では、ターザンが持ってきた三角形を縁取る石が、角度はピッタリなのになんだかぐらぐら…その石をあれやこれやと動かして、ついに、裏返したら座りがよいことを発見した時はうれしかったです。〈ジャンケン落ち葉集め〉に夢中になっているうちに、カワウソからカラス、クマ、気づけばイルカに！ネイチャーゲームは異空間のようです。セミナーの後も、日常に戻って葉っぱ一枚と再会すれば、あの日の世界とつながれます。翌日の筋肉痛も悪くなかったです。


〈ジグソーストーン〉など6アクティビティを体験！　撮影：田川裕則さん

夏を丸かじり！

つくって食べて楽しんで

その5

影絵をつくってあそぼう！

つくり方　手影絵

文　水信　亜衣
撮影協力　日本協会スタッフ一同

幼いころ目にした記憶に、懐かしさを感じる「影絵」。シルエットと動きで巧みに表現される世界に、見ているだけで引き込まれていきます。特に手影絵は、手の形や演じる時々で微妙に違う雰囲気になり、演じている側もとても楽しい活動です。

今回は、動物の手影絵に注目し、いくつか実践してみました！動物たちが集まると、まるで不思議の森の動物会議！おなじみの手影絵の他に、オリジナルでつくって遊んでみると、生きものの体の特徴や動きを再現しようと躍起になっていつのまにか熱中していたり、演じた生きものへの愛着が生まれたりしていることに気づきます。

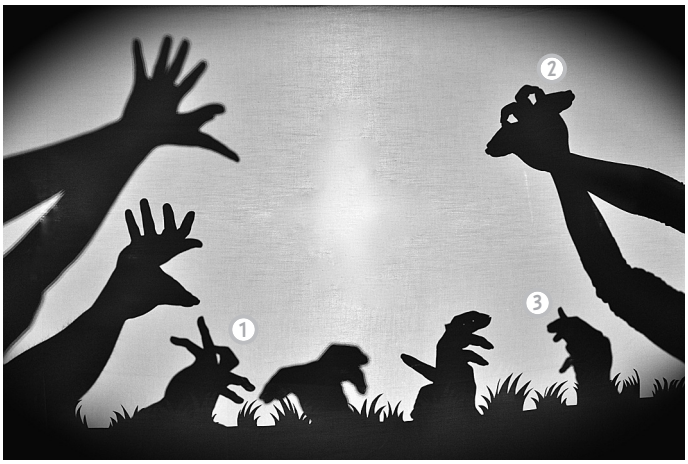
白い布を懐中電灯やキャンドルで照らせばステージの完成です。夏の夜、電力節約も楽しく！お気に入りの手影絵で物語を演じてみてはいかがでしょうか。

① ウサギ

② フクロウ

③ クマ

左手と右手を交差するように重ねる



【参考文献】ウサギ、フクロウの影絵⇒『手で遊ぶ おもしろ影絵ブック』／後藤　圭（PHP研究所）

キャンドルナイトでも影絵あそび！！

キャンドルナイト：主に夏至の夜、電気を消してキャンドルを灯し電力の消費を抑えつつ、ゆっくりとした時間を過ごしてみようという運動の総称。2012年の夏至は6月21日です！ぜひ家族や友だちとキャンドルナイトを楽しんでみてください。キャンドルの灯火に揺れる影絵も幻想的！

©100万人のキャンドルナイト実行委員会

p.10にキャンドルプレゼントあります！

ネイチャーゲームでひろがるつながる

ファシリテーション
～新たな視点でスキルアップ～

『チームファシファシ』は、ファシリテーションスキルの普及を軸に、多様性を認め合い、人の力を引き出す活動を行っている日本ファシリテーション協会沖縄サロンのグループ。サロンの例会やワークショップ、会議前のアイスブレイク等でネイチャーゲームを活用している。

おすすめは〈目かくしトレイル〉、〈ミクロハイク〉等。「異なる視点から見ることで新たな発見ができたり、五感を使って感じることで、五感に訴えて相手に伝える方法に気づける」と照屋さんは言う。意見の違いを知り、多様な考え方を認め合って最適な答えを導き出すファシリテーションのスキルには、ネイチャーゲームのフローラーニングと共通する部分も多い。

ネイチャーゲームを体験したファシリテーターは、感じたこと全てをスキルアップにつなげていくだろう。

よく行うネイチャーゲームBEST3

1. 動物交差点
2. フィールドビンゴ
3. サウンドマップ

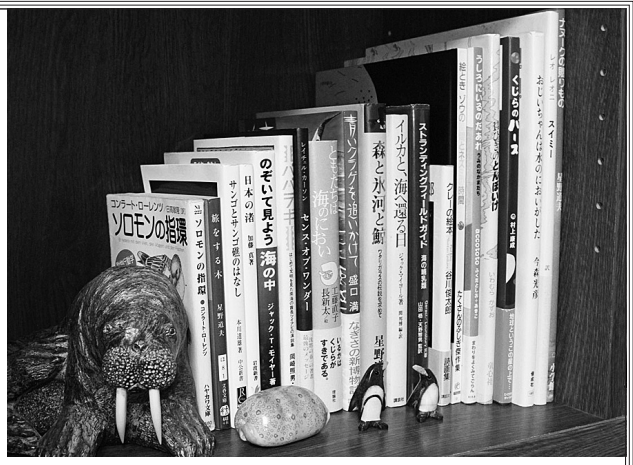
フローラーニングとファシリテーションスキルは共通していて、さまざまな気づきがある！

沖縄県沖縄市 照屋　孝（てるや・たかし）さん
チームファシファシ運営委員
沖縄考古学会会員、沖縄市スポーツ推進委員、ネイチャーゲームリーダー他。
日本ファシリテーション協会HP→https://www.faj.or.jp/
（沖縄サロン、各地方支部のページもコチラから）

あなたの本棚見せて！

髙松明日香（たかまつあすか）さん（沖縄県）

沖縄・座間味島を拠点に世界の海を旅しながら、海や生きものたちのすばらしさを伝え続ける自然写真家ユニット『うみまーる』代表。
http://www.umima-ru.com



髙松さんの この１冊！

「海辺」平凡社

彼女の文は神秘的で美しい、自然そのものだ。ページを開けば、目の前に海が広がり、潮騒の調べや潮風の匂い、波の飛沫の感触が蘇る。そして、何かを発見した時の感動やワクワク感も一緒に。五感と心をフルに使っての経験だからこそ綴れる自然との一体感。明日をも知れぬ自然の中で実に多くの生きもの達が懸命に生きている。どんなに小さな生きものもみな私たち人間と同じいのち。人間は自然の一員にすぎず、みんなで共につながって水の惑星を構成していることを再認識させてくれる、自分にとってバイブルのような一冊です。

お勧め本ベスト5

① 「海辺」平凡社（著：レイチェル・カーソン）
② 「おじいちゃんは水のにおいがした」偕成社（著：今森光彦）
③ 「旅をする木」文春文庫（著：星野道夫）
④ 「パパラギ」学研（訳：岡崎照男）
⑤ 「青いクラゲを追いかけて」講談社（著：盛口 満）

2012年度各種助成金採択状況

日本協会が申請しておりました下記の助成金が採択されました。
●スポーツ振興くじ助成事業
・広報ツール（広報誌・普及ツール・ウェブページ）の作成

2012年度永年会員表彰

日本協会では、会員を永年続けてこられた方を表彰させていただいています。
2012年度は、10年継続会員：499名、20年継続会員：117名が誕生しました。該当する皆さんには、「記念バッチ」を送らせていただきます。

10年会員バッチ

20年会員バッチ

専門委員会開催報告

●指導者養成委員会
2012年度の指導者養成委員（50音順）
石崎一記／小泉紀雄／能條　歩／服部道夫／日置光久／峯岸由美子／宮本雅行／三好直子／山口哲也
以上９名に西澤信雄理事長と渡辺峰夫事務局長がオブザーバーとして入ります。

NATURE GAME NEWS ネイチャーゲームニュース

第６回全国一斉ネイチャーゲームの日

毎年10月の第３日曜日は「全国一斉ネイチャーゲームの日」です。イベントに参加したり、家族や仲間と、またはひとりで気軽にネイチャーゲームを楽しみましょう。皆さんぜひご参加ください！
実施日：2012年10月21日(日)

実践事例・研究報告　募集

下記の分野で事例を募集しています。是非ご応募ください！ホームページから、様式ダウンロード及び過去の事例・研究の閲覧ができます。
○分野
　１．地域実践／２．講師活動／３．コーディネート活動／４．学校教育における活動／５．幼児教育・保育における活動
○応募締切り：2013年３月31日
○応募方法：所定の様式に記入し、メールで応募。
○送付先：日本協会　事例・研究係
　jirei@naturegame.or.jp

ネイチャーゲーム奨励賞募集

ネイチャーゲームに関するすぐれた実践や研究を奨励しています。積極的にご応募ください。
・指導者養成部門（個人での実践活動・研究活動）
・普及部門（組織での実践活動・研究活動）
○応募締切り：2013年３月31日
○応募方法：指導員ハンドブック理論編（第６版）P.155、又はホームページ参照。
○送付先：日本協会　奨励賞係
　shoreisho@naturegame.or.jp

NEWチラシできました！

リーダー資格取得後の活動例を紹介した「リーダー（扉）チラシ」は、リーダー養成講座のお誘いにピッタリです。配布希望の方は、jimukyoku@naturegame.or.jpまでお名前（団体名）・希望部数・送付先住所・電話番号をお知らせください。
※在庫状況によりご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

お詫びと訂正

「自然案内人2012」および「会報Vol.77」に誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。
自然案内人2012
（P. 9　下から9行目）野本ふくみさん　誤：高知県→正：徳島県
（P.17　２段目9行目）御須裕子さん　誤：神奈川県→正：千葉県
会報Vol.77
（P. 3　特集下段後ろから４行目）誤：１時間→正：１年間
（P.10　川柳）ポカポカさん、リタイア組　誤：高知県→正：徳島県

ネイチャーゲームを体験しよう！

✤体験イベントは全国各地で参加できます
✤公認講師を呼んで体験会や研修会が開催できます
✤リーダー養成講座ではより深い体験ができます

モバイルサイト ▶
ネイチャーゲームに関する情報はwebで
http://www.naturegame.or.jp/

読者プレゼント

うみまーる、新刊写真集！

❶『Friends　どんなときも きみはともだち』
￥1,800（税別）　1名様
のんびりと泳ぐウミガメや魚たち、遊ぼうよと笑いかけるイルカやアシカ、広い空と海、潮騒を奏でる小さな波、夕焼けや星空…。
やさしい海の生きもの達と心を励ましてくれる海や空の情景を綴りました。　（提供：うみまーる）

幻のアイテム！

❷バンダナ（フローラーニング／クマ）
非売品　2名様
明るいイエローに、日本協会旧ロゴマークがプリントされたバンダナ。葉っぱや木の実を並べて観察するのにも重宝します。かばんなどに巻いてもステキ！
（提供：ネイチャーゲームクラブ）

キャンドルの灯で
スローな夜を！

❸蜜ろうキャンドルキット
1,000円（税込）　1名様
ほんのりハチミツの香りのする蜜ろうキャンドルを簡単に手づくりできる、蜜ろうシートと灯芯が入ったキット。完成したキャンドルと共に、ゆっくりとした時間を過ごしてみては？
（提供：日本ネイチャーゲーム協会）

【編集後記】
※最近、読者アンケートが減ってきているのが悩み。お待ちしてまーす！☞（ちゃ）
※今「きのこ」の本にハマり中！髪型をマッシュルームカットに戻そうかな…（しな）

表紙の写真
星がさざめき　宙が広がる（撮影：自然写真家ユニット・うみまーる）
太陽が水平線に沈んでしばらくすると、星がひとつ、またひとつと輝きはじめました。空がぐーんと広がる時間。沖縄ではアコークローと呼ばれ、精霊たちの時間とも。オリオン座が夜を待たずに沈むようになると、本格的な夏です。
http://www.umima-ru.com

Sharing Nature News Letter
ネイチャーゲームの森　第78号
発行日　2012年6月15日
発行人　西澤信雄
発行所　社団法人日本ネイチャーゲーム協会

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-13-17　ワークスナカノ2F
TEL 03-5363-6010　FAX 03-5363-6013
http://www.naturegame.or.jp
jimukyoku@naturegame.or.jp

編集　佐々木香織・水信亜衣
デザイン　橋本陽子（ビー・ビー・エフ）
田崎恭子（リクバ）
第一資料印刷（株）
イラスト　安藤美紀子（P.6）
DTP　第一資料印刷（株）

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN
この情報誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

読者アンケート

本誌がさらに魅力的な情報誌になるように、読者の皆さまの声をお聞かせ下さい！ アンケートに答えていただいた方の中から抽選でステキなプレゼントをさし上げます。プレゼント当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

読者プレゼント締め切り日 ▶▶▶ 7月15日

●あなたのお名前　　●会員ID.（または、ご住所／電話番号）

●あなたはネイチャーゲームの会員になって何年たちますか？
□1年未満　□1～3年　□～5年　□～10年　□10年以上（　年）

●本誌『ネイチャーゲームの森』についてご評価ください。また、その理由を聞かせてください。
A. 大変参考になる　B. 参考になる　C. 普通　D. 参考にならない
理由（　　）

●今号の中で良かったコーナーに◎、普通だったコーナーに○、いまひとつだったコーナーに△をつけてください。

日本の民話から「河童」	（　）	イベントレポート	（　）
特集『活躍する“学生”ネイチャーゲームリーダー』	（　）	自然を丸かじり《影絵をつくってあそぼう！》	（　）
シェアリングネイチャーを深めよう	（　）	ネイチャーゲームでひろがるつながる《ファシリテーション》	（　）
テーマ別実践ヒント《自然エネルギー》	（　）	あなたの本棚見せて！	（　）
達人から学ぶ「体験を深めるためのアドバイス」	（　）	ネイチャーゲーム川柳	（　）

●ネイチャーゲーム川柳の投稿、本誌へのご意見、ご要望等　自由にご記入ください。

●プレゼント希望（ご希望に添えない場合もあります。ご了承ください）
□①　□②　□③　□どれでもOK　□プレゼント不要

FAX返信　**03-5363-6013**
メール返信　**mizushina@naturegame.or.jp**
プレゼントの締め切り日を過ぎても、アンケートの返信は受け付けています。

ネイチャーゲーム川柳

ネイチャーゲームの面白い体験、失敗談、ちょっといい話を川柳でお楽しみください。

――特　選――
初対面
はじめましてと
長ばなし
ちょび・大阪府

その他9句

見つけたよ！カモフラージュは　こどもが早い　（浩子／北海道）
またくるね　疲れがぜんぶ　飛びました　（かめ／和歌山県）
カメレオン　もう出ておいでの　大合唱　（かめ／和歌山県）
感じるぞ　けものの気配に　身を固め　（令子／岐阜県）
言葉なく　通じあってる　気持ちよさ　（令子／岐阜県）
カモフラの　グッズ集めて　ニヤ笑い　（和紀／和歌山県）
初指導　説明長い　はじまらず　（キューブ／東京都）
あったはず　ウルトラマンは　空を飛ぶ　（あくり／千葉県）
夏空を　見上げる雲の　中にいる　（モヤ／広島県）

ネイチャーゲーム川柳　募集中！
あーあるある！と共感できる楽しい川柳をお待ちしています。特選の方にはプレゼントをお送りします！　投稿先→mizushina@naturegame.or.jp

NEW

『ネイチャーゲーム1』と『ネイチャーゲーム2』が１冊に！

ネイチャーゲーム原典、新刊！

最新アクティビティ
６つを掲載！

９月末まで
￥1,680
（税込み会員特別価格）
にて販売!!

ネイチャーゲームを知る・学ぶならこの一冊！

シェアリングネイチャー
自然のよろこびをわかちあおう

- 定価
￥2,100（本体￥2,000＋税）
- ジョセフ・コーネル著
- 吉田正人・辻 淑子訳
- 日本ネイチャーゲーム協会発行
- 四六版／ 400 ページ／ ISBN978-4-906937-00-4

コーネルさんの
最新メッセージ等、
最新情報追加！

魅力ある文章で、
著者自身の自然体験や
子どもとの関わりなど
が綴られている。

保育や教育の現場でつかえる

改訂版

新保育所保育指針、新幼稚園教育要領、新学習指導要領対応！

小学校教育の最新情報に加え、幼児教育でネイチャーゲームを取り入れる際のポイントや事例を追加しています。

保育士や小学校の教員、ゲストティーチャーにオススメの１冊！

子どもと自然とネイチャーゲーム
保育と授業に活かす自然体験

- 定価
￥2,000（本体￥1,905＋税）
- 日置光久・村山哲哉・神長美津子・津金美智子　編著
- 日本ネイチャーゲーム協会　監修・発行
- B5 版／ 120 ページ／ ISBN978-4-906937-01-1

ただいま送料一律（何冊でも）300 円!!

お申込み・お問合せはこちらまで

社団法人日本ネイチャーゲーム協会
TEL 03-5363-6010　FAX 03-5363-6013　〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-13-17
ワークスナカノ 2F
jimukyoku@naturegame.or.jp
URL http://www.naturegame.or.jp/

地球と遊ぼう。
自然と話そう。
NATURE GAME®